

# 高成長インド・ 中型株式ファンド

【運用報告書(全体版)】

第22作成期 (2022年3月1日から2022年8月29日まで)

第 **43** 期 / 第 **44** 期

第43期：決算日 2022年5月27日

第44期：決算日 2022年8月29日

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。


商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2011年8月31日から2027年3月1日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 <b>コタック・ファンズ-インドア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX)</b> インドの市場で上場または取引されている株式 <b>マネー・マーケット・マザーファンド</b> 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■インドの中型株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■インドの代表的な総合金融グループの一つであるコタック・マヒンドラ・グループが実質的な運用を行います。 ■原則として、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年4回(原則として毎年2月、5月、8月、11月の27日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## 高成長インド・中型株式ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
35期(2020年5月27日)	6,596	0	△31.2	0.0	97.8	59,137
36期(2020年8月27日)	8,415	0	27.6	0.0	97.0	72,285
37期(2020年11月27日)	9,089	0	8.0	0.0	97.8	72,137
38期(2021年3月1日)	10,351	500	19.4	0.0	96.5	68,472
39期(2021年5月27日)	10,847	600	10.6	0.0	96.1	63,064
40期(2021年8月27日)	11,099	700	8.8	0.0	97.1	61,911
41期(2021年11月29日)	11,191	700	7.1	0.0	95.9	63,172
42期(2022年2月28日)	10,469	600	△1.1	0.0	94.7	60,387
43期(2022年5月27日)	10,019	400	△0.5	0.0	94.8	62,600
44期(2022年8月29日)	11,046	600	16.2	0.0	96.7	72,788

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率	騰落率		
第43期	(期首) 2022年2月28日	円	%	%	%
	3月末	10,469	—	0.0	94.7
	4月末	11,372	8.6	0.0	96.5
	4月末	11,636	11.1	0.0	94.7
第44期	(期末) 2022年5月27日	10,419	△0.5	0.0	94.8
	(期首) 2022年5月27日	10,019	—	0.0	94.8
	5月末	10,551	5.3	0.0	96.8
	6月末	10,545	5.3	0.0	96.8
	7月末	11,134	11.1	0.0	96.9
	(期末) 2022年8月29日	11,646	16.2	0.0	96.7

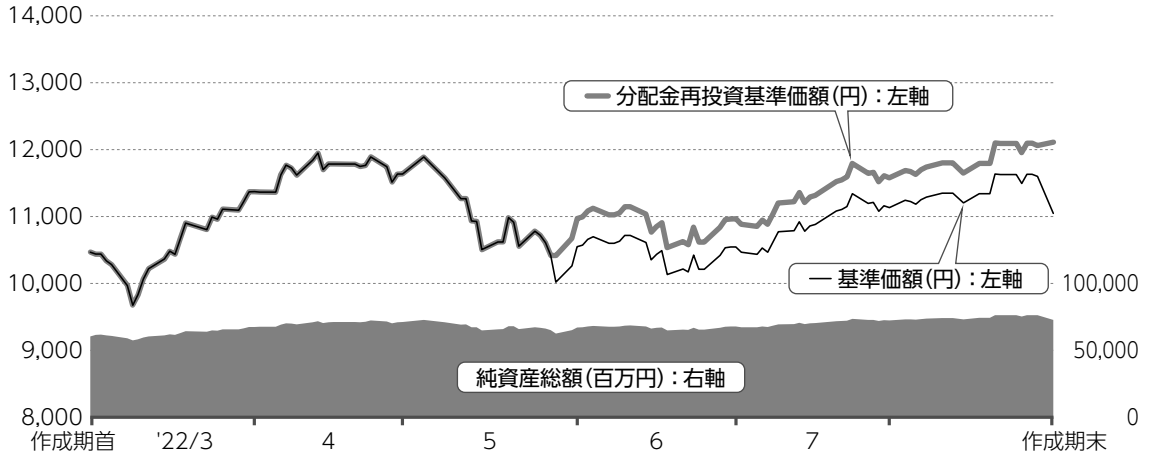
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年3月1日から2022年8月29日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	10,469円
作成期末	11,046円 (当作成期既払分配金1,000円(税引前))
騰落率	+15.7% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

**基準価額の主な変動要因(2022年3月1日から2022年8月29日まで)**

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの取引所に上場している中型株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

**上昇要因**

- 6月中旬から8月中旬にかけて、インフレのピークアウト期待や過度の金融引き締め懸念の後退などから、インド株式市場が上昇したこと
- インドルピーが円に対して上昇したこと

**下落要因**

- 4月上旬から6月中旬にかけて、インフレ懸念が強まったことや利上げを含め金融政策がタカ派(インフレ抑制を重視する立場)的となったことなど、インド株式市場が下落したこと

投資環境について(2022年3月1日から2022年8月29日まで)

インド株式市場は上昇しました。また、為替市場では、インドルピーは対円で上昇しました。

### 株式市場

期初から4月上旬にかけては、原油価格が下落したことや5つの州議会選挙で与党が4州で勝利したことなどを好感し、株式市場は強く上昇しました。その後、米国長期金利の上昇や国内のインフレ加速などが懸念され、下落しました。5月上旬には、RBI(インド準備銀行)がサプライズ利上げを行い、株式市場は軟調な推移が継続しました。

6月中旬から期末にかけては、米国のFOMC(米連邦公開市場委員会)の結果が想定内の内容だったことで利上げに対する過度

の警戒感が後退したことや、インド国内のインフレピークアウト観測が強まったことなどから、株式市場は上昇しました。

### 為替市場

期を通じて、インフレ率の上昇から米国の金融政策がタカ派に転じ、為替市場では米ドルが強含みました。米ドルはインドルピー、円に対して上昇しました。米ドル高・円安が急激に進行した結果、インドルピーは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて(2022年3月1日から2022年8月29日まで)

### 当ファンド

期を通じて、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れました。

### コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

#### ●株式組入比率

期を通じて、中長期で魅力的と判断する銘柄を組み入れることで、株式組入比率を高位に維持しました。

●業種配分

業種配分では、経済活動の正常化、景気回復による需要拡大を見込み、資本財・サービスや素材などを相対的に高めの組入れとした一方、公益や一般消費財・サービスなどを低位の組入れとしました。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年3月1日から2022年8月29日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年3月1日から2022年8月29日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第43期	第44期
当期分配金	400	600
(対基準価額比率)	(3.84%)	(5.15%)
当期の収益	58	600
当期の収益以外	341	-
翌期繰越分配対象額	318	1,045

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)」を高位に組み入れて運用を行います。

### コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド(クラスX)

インフレ懸念が残る中で、金融引き締め環境が継続しています。ロシア・ウクライナ情勢には進展が見られませんが、株式市場では悪材料の織り込みが進んできているように感じられます。

インド国内では、8月初にRBIは3会合

連続で政策金利を引き上げました。インフレはピークアウトしたと思われませんが、CPI(消費者物価指数)の上昇率が政府目標を超えた水準で高止まりするとも思われ、RBIは利上げ基調を継続すると見込んでいます。短期的にはインド株式市場は、不安定な動きをする可能性もありますが、中長期的なインドの成長ストーリーについては引き続き自信を持っており、新たな上昇基調が始まる前段階に入りつつあると考えています。

### マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## 高成長インド・中型株式ファンド

### 1万口当たりの費用明細 (2022年3月1日から2022年8月29日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	63円	0.578%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期中の平均基準価額は10,969円です。</span>
（投信会社）	(20)	(0.178)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(42)	(0.384)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合計</b>	<b>64</b>	<b>0.580</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

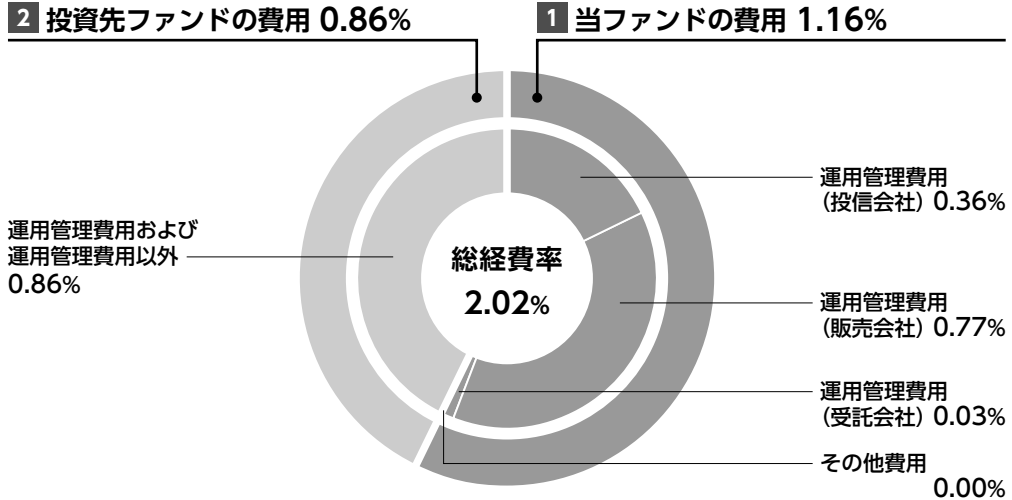
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。





## 参考情報 総経費率(年率換算)



<b>総経費率(1+2)</b>	<b>2.02%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>1.16%</b>
<b>2 投資先ファンドの費用の比率</b>	<b>0.86%</b>

※ 1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ 2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ 1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※ 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.02%です。

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2022年3月1日から2022年8月29日まで)

#### 投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX)	170,386	7,717,000	72,941	3,595,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2022年3月1日から2022年8月29日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2022年3月1日から2022年8月29日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2022年8月29日現在)

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口 数	口 数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX)	1,316,426.315	1,413,871.4166	70,421,024	96.7
合 計	1,316,426.315	1,413,871.4166	70,421,024	96.7

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	作成期首	作成期末	
	口 数	口 数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	17,711	17,711	17,700

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は76,632,575口です。

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■ 投資信託財産の構成

(2022年8月29日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	70,421,024	91.2
マネー・マーケット・マザーファンド	17,700	0.0
コーロローン等、その他	6,758,925	8.8
投 資 信 託 財 産 総 額	77,197,650	100.0

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年5月27日) (2022年8月29日)

項 目	第43期末	第44期末
<b>(A) 資 産</b>	<b>65,463,091,455円</b>	<b>77,197,650,475円</b>
コーロローン等	6,086,537,100	6,758,925,195
投資証券(評価額)	59,358,853,850	70,421,024,775
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	17,700,505	17,700,505
<b>(B) 負 債</b>	<b>2,862,485,229</b>	<b>4,409,345,649</b>
未払収益分配金	2,499,365,767	3,953,790,194
未払解約金	175,271,823	245,002,438
未払信託報酬	187,421,965	210,134,595
その他未払費用	425,674	418,422
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>62,600,606,226</b>	<b>72,788,304,826</b>
元 本	62,484,144,177	65,896,503,238
次期繰越損益金	116,462,049	6,891,801,588
<b>(D) 受 益 権 総 口 数</b>	<b>62,484,144,177口</b>	<b>65,896,503,238口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	10,019円	11,046円

※ 当作成期における作成期首元本額57,680,321,714円、作成期中追加設定元本額13,922,579,992円、作成期中一部解約元本額5,706,398,468円です。

※ 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※ 上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

(自2022年3月1日) (自2022年5月28日)  
(至2022年5月27日) (至2022年8月29日)

項 目	第43期	第44期
<b>(A) 配 当 等 収 益</b>	<b>552,983,791円</b>	<b>575,930,025円</b>
受 取 配 当 金	553,233,734	576,213,659
受 取 利 息	8,318	21,128
支 払 利 息	△ 258,261	△ 304,762
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△1,167,442,296</b>	<b>9,871,825,321</b>
売 買 益	141,189,435	10,121,394,310
売 買 損	△1,308,631,731	△ 249,568,989
<b>(C) 信 託 報 酬 等</b>	<b>△ 187,935,411</b>	<b>△ 210,650,274</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>△ 802,393,916</b>	<b>△ 10,237,105,072</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>457,631,379</b>	<b>△ 2,313,313,135</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>2,960,590,353</b>	<b>2,939,799,845</b>
(配当等相当額)	( 2,401,516,742)	( 2,106,816,531)
(売買損益相当額)	( 559,073,611)	( 832,983,314)
<b>(G) 合 計 (D+E+F)</b>	<b>2,615,827,816</b>	<b>10,845,591,782</b>
<b>(H) 収 益 分 配 金</b>	<b>△2,499,365,767</b>	<b>△ 3,953,790,194</b>
次期繰越損益金(G+H)	116,462,049	6,891,801,588
追加信託差損益金	2,548,055,496	2,939,799,845
(配当等相当額)	( 1,988,982,400)	( 2,106,816,801)
(売買損益相当額)	( 559,073,096)	( 832,983,044)
分配準備積立金	-	3,952,001,743
繰 越 損 益 金	△2,431,593,447	-

※ 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。  
 ※ 株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。  
 ※ 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 ※ 分配金の計算過程は以下の通りです。

	第43期	第44期
(a) 経費控除後の配当等収益	365,072,951円	564,348,437円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	7,341,443,500
(c) 収益調整金	2,401,517,257	2,939,799,845
(d) 分配準備積立金	1,721,757,959	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	4,488,348,167	10,845,591,782
1万口当たり当期分配対象額	718.32	1,645.85
(f) 分配金	2,499,365,767	3,953,790,194
1万口当たり分配金	400	600

## ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第43期	第44期
		400円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）								
形態	ルクセンブルグ籍会社型投資信託（円建て）								
主要投資対象*	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。								
運用の基本方針*	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。								
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一発行体の有価証券への投資割合は、原則として純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> </ul>								
決算日	年1回（原則として、毎年12月31日。休業日の場合は前営業日）								
分配方針	毎年2月、5月、8月、11月の10日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針です。								
運用管理費用	<p>純資産総額に対して</p> <table> <tr> <td>運用報酬</td> <td>年0.75%程度</td> </tr> <tr> <td>管理費用</td> <td>年0.05%程度</td> </tr> <tr> <td>保管費用</td> <td>年0.04%程度</td> </tr> <tr> <td>事務代行費用</td> <td>年0.05%程度</td> </tr> </table> <p>※上記の各料率には、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の各料率を上回ることがあります。</p>	運用報酬	年0.75%程度	管理費用	年0.05%程度	保管費用	年0.04%程度	事務代行費用	年0.05%程度
運用報酬	年0.75%程度								
管理費用	年0.05%程度								
保管費用	年0.04%程度								
事務代行費用	年0.05%程度								
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>								
申込手数料	ありません。								
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却額の差額が、ファンドの時価総額に対して一定の割合を超過する場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整され、ファンドの基準価額に反映されることがあります。								
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）								
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。								

\*従来、「インド・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」への投資を通じてインドの中型株式等に投資する形態を取っていましたが、インドとモーリシャスの租税条約改正を受け、2022年3月現在、新規投資は「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」が直接インドの中型株式等に投資する方針となっています。

## 高成長インド・中型株式ファンド

(コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド (クラスX) を通じて保有)

ファンド名	インディア・ミッドキャップ (モーリシャス) リミテッド
形態	モーリシャス籍会社型投資信託 (米ドル建て)
主要投資対象	インドの市場で上場または取引されている株式を主要投資対象とします。
運用の基本方針	主としてインドの中型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。また、大型株式へ投資することがあります。原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・ 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> </ul>
決算日	年1回 (原則として、毎年12月31日。休業日の場合は前営業日)
分配方針	分配は行いません。
運用管理費用	ありません。
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント (シンガポール)
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

\*インディア・ミッドキャップ (モーリシャス) リミテッドは、保有株式がすべて売却された後に清算される予定です。

## 高成長インド・中型株式ファンド

以下には、「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド（クラスX）」をシェアクラスとして含む「コタック・ファンズーインディア・ミッドキャップ・ファンド」の直近の現地監査済み財務諸表を、委託会社において抜粋して翻訳したものを記載しています。

### ■ 損益計算書 (2021年1月1日から2021年12月31日まで)

(単位：米ドル)

収益		
配当収益		9,750,736
その他収益		118,374
収益合計		9,869,110
費用		
投資運用報酬		16,033,708
管理事務代行・保管報酬		908,169
監査報酬および専門家報酬		116,276
管理会社報酬		595,835
年次税		638,905
取引手数料		18,255
役員報酬		67,248
その他費用		166,881
費用合計		18,545,277
投資純損失		(8,676,167)
純実現損益：		
- 投資ポートフォリオ		405,263,063
- 外国為替取引		(61,484,805)
- キャピタル・ゲイン税		(63,393,125)
純実現利益		280,385,133
未実現評価利益の純変動額：		
- 投資ポートフォリオ		290,548,832
- 外国為替取引		164,580
未実現評価利益の純変動額		290,713,412
営業利益		562,422,378

## 高成長インド・中型株式ファンド

### ■ 投資明細表(2021年12月31日現在)

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産 構成比(%)
	公認の証券取引所に上場されている、もしくは他の規制市場で 取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品		
	株式		
	インド		
928,553	Aarti Industries	12,544,537	0.71
1,419,874	Aavas Financiers	49,951,741	2.82
521,055	Alembic Pharmaceuticals	5,618,994	0.32
443,768	Alkem Laboratories	21,627,431	1.22
348,733	Amber Enterprises India	15,552,082	0.88
178,859	Apollo Hospitals Enterprise	12,058,629	0.68
6,203,841	Apollo Tyres	18,283,398	1.03
10,889,914	Ashok Leyland	17,932,384	1.01
270,782	Atul	32,915,447	1.86
2,607,881	AU Small Finance Bank	36,350,623	2.05
2,231,576	Axis Bank	20,363,307	1.15
1,162,777	Balkrishna Industries	36,330,820	2.05
2,700,119	Balrampur Chini Mills	13,344,276	0.75
1,021,265	Bata India	25,705,015	1.45
2,020,196	Bharat Petroleum	10,471,679	0.59
4,455,031	Brigade Enterprises	29,374,292	1.66
2,333,432	Carborundum Universal	30,803,963	1.74
1,106,058	Cholamandalam Financial Holdings	9,700,189	0.55
5,482,580	Cholamandalam Investment & Finance	38,368,696	2.17
10,585,279	City Union Bank	19,167,411	1.08
1,466,104	Container Corp. Of India	12,116,489	0.68
2,306,065	Coromandel International	23,446,436	1.32
7,011,334	Crompton Greaves Consumer Electricals	41,246,192	2.33
1,624,949	Cummins India	20,580,371	1.16
345,019	Divi's Laboratories	21,705,839	1.23
4,032,025	Emami	28,141,378	1.59
30,548,360	Federal Bank	34,097,361	1.93
5,259,864	Fortis Healthcare	21,029,270	1.19
1,389,382	Gujarat Gas	11,861,717	0.67
2,943,431	Gujarat State Petronet	11,682,921	0.66
3,638,586	ICICI Bank	36,216,557	2.05
100,933	IndiaMart InterMesh	8,790,663	0.50
2,091,297	Indraprastha Gas	13,229,329	0.75



## 高成長インド・中型株式ファンド

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産 構成比(%)
971,119	Ipca Laboratories	28,297,369	1.60
6,610,416	Jindal Steel & Power	33,536,120	1.90
654,527	JK Cement	29,916,745	1.69
2,163,036	Kajaria Ceramics	37,522,469	2.12
219,569	Krsnaa Diagnostics	2,177,501	0.12
396,994	Latent View Analytics	2,997,969	0.17
6,335,915	Mahindra & Mahindra Financial Services	12,691,257	0.72
2,380,605	Mahindra Logistics	21,795,241	1.23
3,060,795	Max Financial Services	40,352,475	2.28
3,737,900	Max Healthcare Institute	22,263,228	1.26
620,929	Metro Brands	3,826,060	0.22
341,827	Mindtree	21,972,984	1.24
6,846,333	Motherson Sumi Systems	20,558,978	1.16
1,353,089	Mphasis	61,807,095	3.49
12,817	MRF	12,640,674	0.71
2,480,463	Oberoi Realty	28,747,099	1.62
32,575	Page Industries	17,707,293	1.00
1,331,425	Persistent Systems	87,811,813	4.96
884,846	PI Industries	36,104,944	2.04
5,742,041	PNC Infratech	20,335,478	1.15
160,672	Rolex Rings	2,511,060	0.14
485,115	Sansera Engineering	5,066,043	0.29
318,226	Sapphire Foods India	5,217,321	0.30
177,347	Schaeffler India	20,950,323	1.18
871,716	Shriram Transport Finance	14,266,596	0.81
565,546	Shyam Metalics & Energy	2,607,515	0.15
740,935	SKF India	37,278,414	2.11
2,520,910	SRF	82,043,737	4.64
212,422	Sundaram Finance	6,534,545	0.37
1,162,992	Supreme Industries	34,858,793	1.97
2,637,836	Syngene International	21,989,948	1.24
1,403,039	Tata Chemicals	16,871,713	0.95
374,290	TeamLease Services	20,960,663	1.18
317,349	Tega Industries	2,531,802	0.14
2,481,123	The Ramco Cements	33,502,718	1.89
1,332,762	Thermax	32,026,364	1.81
539,909	Torrent Pharmaceuticals	23,803,669	1.35
1,018,550	TVS Motor	8,588,250	0.49
185,502	UltraTech Cement	18,936,740	1.07

## 高成長インド・中型株式ファンド

株数/額面	銘柄名	時価 (単位：米ドル)	純資産 構成比(%)
1,962,669	United Spirits	23,708,226	1.34
2,435,122	Varroc Engineering	10,883,565	0.62
6,955,513	V-Guard Industries	20,732,500	1.17
2,571,658	Voltas	42,162,382	2.38
6,537,285	Zee Entertainment Enterprises	28,202,432	1.59
	株式合計	1,799,907,548	101.69
	証券取引所に公式上場されている、もしくは他の規制市場で 取引されている譲渡可能な有価証券および短期金融商品合計	1,799,907,548	101.69
	投資合計	1,799,907,548	101.69
	その他純資産および負債	(30,034,864)	(1.69)
	純資産価値	1,769,872,684	100.00

## 高成長インド・中型株式ファンド

以下には、「インディア・ミッドキャップ（モーリシャス）リミテッド」の直近の現地監査済み財務諸表を、委託会社において抜粋して翻訳したものを記載しています。

### ■ 包括利益計算書 (2021年1月1日から2021年12月31日まで)

(単位：米ドル)

収益	
配当収益	1,765,569
損益を通じて公正価値で測定する金融資産からの純利益	81,393,825
外貨取引にかかる純損失	(35,919)
収益合計	<u>83,123,475</u>
費用	
管理事務代行および保管報酬	45,054
その他費用	4,599
専門家報酬	2,455
営業費用合計	<u>52,108</u>
税引前利益	83,071,367
法人税等	(165,302)
償還可能普通株式保有者に帰属する純資産の増加額	<u>82,906,065</u>

# マネー・マーケット・マザーファンド

第11期 (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77
10期 (2021年3月1日)	10,002	△0.1	75.9	76
11期 (2022年3月1日)	9,994	△0.1	76.0	76

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

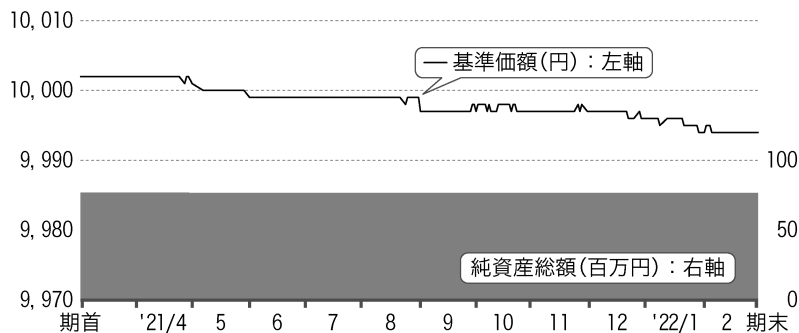
年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
(期首) 2021年3月1日	円	%	%
3月末	10,002	-	75.9
4月末	10,002	0.0	75.8
5月末	10,001	△0.0	75.9
6月末	9,999	△0.0	76.1
7月末	9,999	△0.0	76.0
8月末	9,999	△0.0	75.9
9月末	9,997	△0.0	76.0
10月末	9,997	△0.0	76.0
11月末	9,997	△0.0	76.0
12月末	9,996	△0.1	76.1
2022年1月末	9,994	△0.1	76.0
2月末	9,994	△0.1	76.0
(期末) 2022年3月1日	9,994	△0.1	76.0

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	10,002円
期末	9,994円
騰落率	-0.1%

### ▶ 基準価額の主な変動要因 (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

---

▶ 投資環境について (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

---

短期金利は小幅上昇しました。

物価の上昇率が低水準にとどまったことや、新型コロナウイルスの感染拡大が繰り返されたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を据え置き、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、発行額の増減などにより上下に振れる局面もありましたが、日銀が需給動向を勘案し、短期国債の買入れ額を調整したことから、期を通じて概ねレンジ推移となりました。

---

▶ ポートフォリオについて (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

---

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

---

▶ ベンチマークとの差異について (2021年3月2日から2022年3月1日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.005	

期中の平均基準価額は9,998円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特殊債券	千円 58,518	千円 — (58,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 58	百万円 15	% 25.9	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、S M B C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2021年3月2日から2022年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	58,000 (58,000)	58,193 (58,193)	76.0 (76.0)	— (—)	— (—)	— (—)	76.0 (76.0)
合 計	58,000 (58,000)	58,193 (58,193)	76.0 (76.0)	— (—)	— (—)	— (—)	76.0 (76.0)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除く金融債券)	159 政保道路機構	0.9000	14,000	14,005	2022/03/18
	163 政保道路機構	0.9010	15,000	15,033	2022/05/31
	40政保地方公共団	0.8190	15,000	15,068	2022/09/16
	180 政保道路機構	0.7340	14,000	14,085	2022/12/28
	小 計	—	58,000	58,193	—
	合 計	—	58,000	58,193	—

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

■ 投資信託財産の構成

(2022年3月1日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 58,193	% 76.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,392	24.0
投 資 信 託 財 産 総 額	76,586	100.0



## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	76,586,115円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,301,901
公 社 債 ( 評 価 額 )	58,193,302
未 収 利 息	90,912
(B) 負 債	263
そ の 他 未 払 費 用	263
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	76,585,852
元 本	76,632,575
次 期 繰 越 損 益 金	△ 46,723
(D) 受 益 権 総 口 数	76,632,575口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	9,994円

※当期における期首元本額76,752,334円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額119,759円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド (為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (限定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド (年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド (限定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連連株式ファンド (為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連連株式ファンド (為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド (年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2021年3月2日 至2022年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	542,668円
受 取 利 息	555,652
支 払 利 息	△ 12,984
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 603,028
売	△ 603,028
買	△ 603,028
(C) そ の 他 費 用 等	△ 3,836
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 64,196
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	17,437
(F) 解 約 差 損 益 金	36
(G) 合 計 ( D + E + F )	△ 46,723
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	△ 46,723

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。